

あなたの声を県政に、伝えよう私たちの心、夢かなうひょうごへ

県議会広報 PR キャラクター「ひょうご博士」
「兵議博士」

躍動する兵庫実現への 予算を可決！

～新たな時代に未来への
希望を紡ぐ。～



行財政運営調査特別委員会調査報告

第357回2月定例県議会

第357回 2月定例県議会の概要 ※その他の概要は4面に記載

令和3年度補正予算を可決

国の補正予算を活用し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策や、地域経済の活性化・地域づくり、県民生活の安定化などに関する補正予算（総額995億円）を可決しました。（2月16日）
また、県北部を中心とした豪雪による雪害被災農業者等に対する支援や道路の除雪対策等の実施、年間を通じた事業実績の確定や見込み等を踏まえた補正予算を可決しました。（3月3日）
さらに、まん延防止等重点措置の期間延長に伴う新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の支給に要する補正予算（総額351億円）を可決しました。（3月30日）

令和4年度当初予算を可決（3月30日）

「県政改革方針」に基づき、持続可能な行財政基盤を確立し、新型コロナウイルス感染症への対応、人口減少・超高齢化・多発する災害・温暖化・経済構造の変容等、挑戦すべき課題に立ち向かい、「躍動する兵庫」の実現に向けた予算（総額4兆2,482億円）を可決しました。

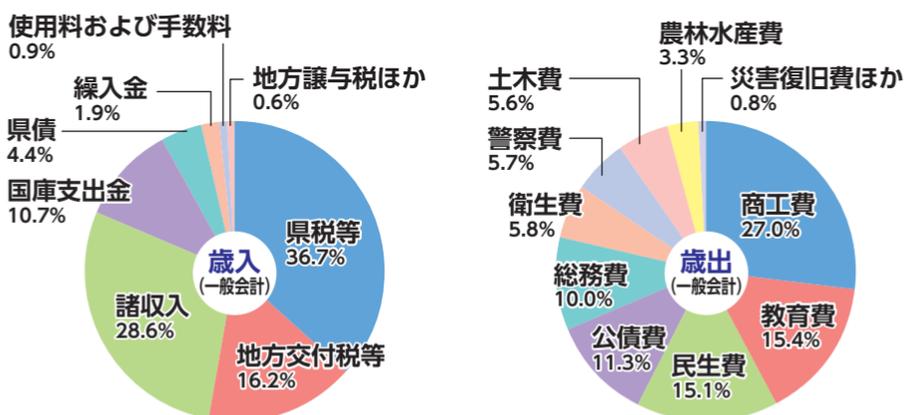
「躍動する兵庫」へ 3つの視点



- 新しい成長の種をまく
- 地域の価値を高める
- 安全安心の網を広げる

令和4年度 当初予算 総額 4兆2,482億円 (対前年度比92.2%)

一般会計 2兆3,833億円 / 特別会計 1兆5,943億円 / 公営企業会計 2,706億円



兵庫県 令和4年度当初予算 検索 ※詳細は、兵庫県ホームページをご覧ください。

代表・一般質問の概要をご紹介します

一般質問

代表質問



◆ 自由民主党 ◆ 神戸市東灘区 ◆ 長瀬 たけし

Q 県庁舎再整備の抜本的見直しと民間投資を呼び込む方策について。

A 元町全体のブランドデザインを描く中で、県庁舎は元町地区配置を前提とし、県有敷地を活用した地代収入も含め民間事業者の意向把握に努め民間投資を呼び込む方策を検討する。

Q 化学物質過敏症について相談窓口設置や啓発事業等の対策を求める。

A 県民の理解を深めるため、HPや県・市町の広報誌等への掲載など周知・啓発に取り組み。また、原因物質に応じ関係各課等が相談に応じるなど県民の不安解消に向けた取組を進める。



◆ ひょうご県民連合 ◆ 川西市及び川辺郡 ◆ 北上 あきひと

Q 今後の県と神戸市との協調の取組と神戸地域の将来像について。

A 知事と市長の信頼関係のもと緊密な意思疎通を図り、適切な役割分担と県市協調による効果的な施策を展開し、神戸の強みや可能性を生かして魅力ある兵庫・神戸の発展を目指す。

Q 医療的ケア児支援センター設置を契機とした取り組みについて。

A 医療的ケア児が身近な地域で必要な支援を受けられるよう、令和5年度末を目標にすべての市町に医療的ケア児等コーディネーターを配置するなど、相談支援体制の構築に取り組む。



◆ 自民党兵庫 ◆ 神戸市北区 ◆ 奥谷 謙一

Q コロナ禍での高齢者の社会参加活動の維持・継続への方策が必要。令和4年度に中等度難聴の高齢者約400人の補聴器購入を助成し、補聴器使用の社会参加の効果の調査を実施する。調査によって補聴器の社会参加促進の結果が得られた場合は、調査結果を国への恒久的な制度化の提案に活用していきたい。

A コロナ禍での高齢者の社会参加活動の維持・継続への方策が必要。令和4年度に中等度難聴の高齢者約400人の補聴器購入を助成し、補聴器使用の社会参加の効果の調査を実施する。調査によって補聴器の社会参加促進の結果が得られた場合は、調査結果を国への恒久的な制度化の提案に活用していきたい。

Q 難聴高齢者の認知症予防対策の観点から補聴器購入費用助成が必要だが、当初予算での対応は。今後の恒久的な予算化も伺う。

A 難聴高齢者の認知症予防対策の観点から補聴器購入費用助成が必要だが、当初予算での対応は。今後の恒久的な予算化も伺う。



◆ 公明党・県民会議 ◆ 西宮市 ◆ 竹尾 ともえ

Q 公共空間を活用したルートや地域を分断しない高架構造とするなどの検討を進めており、今後も地域の意見を聴きながら都市計画と環境影響評価の手続きを並行して進めていく。

A 公共空間を活用したルートや地域を分断しない高架構造とするなどの検討を進めており、今後も地域の意見を聴きながら都市計画と環境影響評価の手続きを並行して進めていく。

Q 播磨臨海地域道路の実現に向けた現在の取組と今後の見込みは。

A 播磨臨海地域道路の実現に向けた現在の取組と今後の見込みは。



◆ 自由民主党 ◆ 加古郡 ◆ 岡 つよし

Q 本庁組織を12部体制に再編し、部長のマネジメントの下、旧来の慣例にとらわれない新たな提案が生み出される環境を整える。また、外部有識者による事業レビューを導入し新たなアイデアを取り入れ、職員の意識改革にも繋げる。職場から業務の創意工夫や変革の提案がなされるイノベーション型行財政運営を実現していく。

A 本庁組織を12部体制に再編し、部長のマネジメントの下、旧来の慣例にとらわれない新たな提案が生み出される環境を整える。また、外部有識者による事業レビューを導入し新たなアイデアを取り入れ、職員の意識改革にも繋げる。職場から業務の創意工夫や変革の提案がなされるイノベーション型行財政運営を実現していく。

Q 地方回帰の潮流を捉え、田舎に人が集まる条件を作ることが、最大の地域創生。兵庫県全体では五国の多様性をさらに活かした戦略とすべき。

A 地方回帰の潮流を捉え、田舎に人が集まる条件を作ることが、最大の地域創生。兵庫県全体では五国の多様性をさらに活かした戦略とすべき。



◆ 自由民主党 ◆ 丹波篠山市 ◆ 小西 隆紀

第6波の反省点と今後の対応

Q 第6波はオミクロン株により感染者数が急拡大し、保健所や外来診療がひっ迫した。対応のどこに問題があったのか検証が必要ではないか。

A オミクロン株の感染拡大は国の想定を上回っている。本県でも、適切な療養の実施と病床の更なる確保、自宅療養者のフォローアップ、応援職員による保健所機能の強化、ワクチン接種の促進のほか、特に高齢者の感染増加を踏まえ、対策の徹底に取り組んでおり、一日も早い感染収束に向けて全力で取り組んでいく。



◆ ひょうご県民連合 ◆ 神崎郡 ◆ 上野 英一

地域創生について

Q 新しい組織体制の下、本格的に取り組んでいく行財政全般の断の見直しにおいて、どのようにスクラップ・アンド・ビルドを進めるのか。

A 本庁組織を12部体制に再編し、部長のマネジメントの下、旧来の慣例にとらわれない新たな提案が生み出される環境を整える。また、外部有識者による事業レビューを導入し新たなアイデアを取り入れ、職員の意識改革にも繋げる。職場から業務の創意工夫や変革の提案がなされるイノベーション型行財政運営を実現していく。



◆ 自民党兵庫 ◆ たつの市及び播磨郡 ◆ 山口 晋平

齋藤県政の行財政改革

Q 難聴高齢者の認知症予防対策の観点から補聴器購入費用助成が必要だが、当初予算での対応は。今後の恒久的な予算化も伺う。

A 難聴高齢者の認知症予防対策の観点から補聴器購入費用助成が必要だが、当初予算での対応は。今後の恒久的な予算化も伺う。



◆ 公明党・県民会議 ◆ 明石市 ◆ 伊藤 勝正

高齢者の補聴器購入助成を

Q 難聴高齢者の認知症予防対策の観点から補聴器購入費用助成が必要だが、当初予算での対応は。今後の恒久的な予算化も伺う。

A 難聴高齢者の認知症予防対策の観点から補聴器購入費用助成が必要だが、当初予算での対応は。今後の恒久的な予算化も伺う。

在大阪ロシア連邦総領事に抗議文書を手交

県議会では、3月1日に「ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議」を行いました。この決議を受け、3月4日には、藤本百男議長が在大阪ロシア連邦総領事館を訪問して総領事と面談し、ロシアが無条件で即時撤退し、平和的な解決の道を探ることを求める抗議文書を手交しました。また、在日ロシア連邦大使、県と友好・姉妹提携を結ぶハバロフスク地方知事あての文書も併せて総領事に手交しました。

第357回 2月定例県議会での



北口寛人
自由民主党
明石市

Q 豊かな生態系がある明石公園の樹木伐採を含めた自然保護の観点は。

A 生態系や文化財の専門家、地域の意見も聞き、自然環境に配慮しながら、樹木による石垣の崩落防止対策を行う等、自然と歴史文化等のバランスを取り、整備・管理を行っていく。



松井重樹
自由民主党
たつの市及び揖保郡

Q 新生児聴覚検査の実情と難聴の早期発見・治療の重要性への認識は。

A 県下の受検率は向上しているが、未受検の新生児がいることは課題である。難聴の情報周知による理解促進を図り、関係機関の連携によって、難聴児の早期発見、支援を推進する。



大豊康臣
自由民主党
加西市

Q イエロー区域の開発許可の規制見直しに係る市町の意見と対応は。

A 避難場所の基準について、市町から、地域防災計画に位置付けられた指定避難所以外も認めることや避難所までの距離を柔軟に取り扱うべきとの意見があり、これらを反映した。



岸口みのる
維新の会
明石市

Q 今秋の全国豊かな海づくり大会をレガシーの残る大会にすべき。

A 豊かな海づくりの活動を一層深めていく推進母体を立ち上げ、大会のレガシーとして、豊かで美しいひょうごの海の創出と継承、そして県民総参加による運動へと発展させていく。



竹内英明
ひょうご県民連合
姫路市

Q 兵庫県財政の見える化改革の推進について。

A 財政を「見える化」する観点から、県債管理基金残高に含まれる預託金や外部基金集約の解消等を反映。県債管理基金の残高回復に優先して取り組み、持続可能な財政を実現したい。



迎山志保
ひょうご県民連合
加古川市

Q これまで進めてきた芸術文化施策への知事の姿勢、今後の進め方は。

A 財政状況が厳しい中、検証や適切な見直しは必要。一方で、芸術文化は県民の暮らしにとって重要なもの。今後も兵庫が誇る文化力を高め、活かす多彩な取組を展開していきたい。



入江次郎
日本共産党
姫路市

Q 製鉄記念広畑病院の後医療機関開院時期及び医療提供体制について。

A 開院時期は1年以内の予定だが新病院では早期開院に努力している。個々の患者の意向に沿った適切な医療提供ができるよう準備を進め、開院後も患者が困らないよう対応していく。



石川憲幸
自民党兵庫
丹波市

Q 県政改革方針において、どのような官民連携の姿を思い描いているか。

A 民間人材の活用等による企業とのマッチングや連携事業、Park+PFIに向けた調査、官民連携を含む県庁舎整備のあり方の検討など、民間活力を活用し、社会・経済課題の解決に取り組む。



中野郁吾
自民党兵庫
西宮市

Q 民間インキュベーション施設と連携したスタートアップ支援の強化。

A 来年度はスタートアップの稼働力の強化を図る。また、西宮市はスタートアップの支援拠点の適地であり、今後民間で開発整備が進む際には、県として何ができるか検討したい。



中島かおり
無所属
芦屋市

Q 新型コロナウイルス対応を踏まえた芦屋健康福祉事務所の体制検討について。

A 保健所は感染症対策の要であり、芦屋健康福祉事務所あり方検討においては、新型コロナウイルスへの対応状況を十分に考慮したうえで、芦屋市など現場の意見も聞きながら丁寧に進める。



松田一成
公明党・県民会議
神戸市兵庫区

Q 空家活用特区条例による空家の管理不全の防止と活用促進について。

A 空家バンクの登録支援や空家改修補助の割り増しなどの流通促進や規制緩和、活用支援の施策により、空家の活用を促進し、移住、定住や交流の促進や地域の活性化につなげる。



坪井謙治
公明党・県民会議
伊丹市

Q 伊丹市統合新病院の高度急性期・急性期医療、救急体制の充実。

A 統合新病院には高度急性期・救急医療体制を強化した阪神北津園地域の基幹病院としての機能を期待。今年度増額した施設整備補助に加え、必要な設備整備補助等の積極的支援を行う。



藤田孝夫
自由民主党
養父市及び朝来市

Q DC、大阪・関西万博に向けた観光戦略の方向性と数値的目標は。

A 自然、文化などの風土を体験する新しい旅のスタイルを提案していく。具体的数値目標は、人数や経済的指標のほか脱炭素やフードマイレージなど新たな指標も含め今後検討する。



高橋みつひろ
維新の会
神戸市西区

Q 新型コロナウイルス飲み薬を自宅療養者に活用できるような体制構築が必要。

A モルヌピラビルは、配備薬局にオンライン診療等による処方箋を送付し、薬局が電話等で服薬指導を行い、患者宅に配送する体制を整備済。今後も安定的な供給体制構築に努める。



春名哲夫
自由民主党
宍粟市

Q 収入証紙廃止に向けた手数料納付のオンライン化を検討すべき。

A 県民の利便性向上と事務効率化のため、収入証紙に替え、クレジットカード・コンビニ等での電子納付や、一部の申請窓口へのキャッシュレス端末設置を令和4年度に開始する。

第357回2月定例県議会

2月16日～3月30日

今回の議会で定められたこと

条例 (計32件)

【議員提出議案】

- 兵庫県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例
- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 兵庫県議会委員会条例の一部を改正する条例
- 県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例の一部を改正する条例

【知事提出議案】

- 行財政の運営に関する条例の一部を改正する条例
- 部制条例の一部を改正する条例
- 景観の形成等に関する条例の一部を改正する条例
- 歯と口腔の健康づくり推進条例
- 空家等活用促進特別区域の指定等による空家等の活用の促進に関する条例
- 都市計画法施行条例の一部を改正する条例 など

決議 (計2件)

- ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議
- 2023年主要国首脳会議にかかる関係閣僚会合の姫路市開催を求める決議

意見書 (計8件)

- 国内サプライチェーンの構築、強化を求める意見書
- 小中高等学校卒業証書への通称記載について本人・保護者の意向を尊重した対応をとるよう自治体教育委員会に周知徹底を求める意見書
- 地域公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書
- 感染拡大期を含め保健所機能維持への対策を求める意見書
- 不登校児童生徒に対する支援制度の確立を求める意見書
- 加齢性難聴者の補聴器購入支援制度の創設を求める意見書
- 水上オートバイによる危険運転等への法的整備等を求める意見書
- 学校現場でのネットいじめ防止を求める意見書

予算及びその他の議決案件 (計87件)

- 令和4年度兵庫県一般会計予算及び令和3年度兵庫県一般会計補正予算
- 兵庫県行財政運営方針の変更
- ひょうごビジョン2050の策定 など



県議会 ニュース

令和10年度までの県政改革の基本方針を決定

第355回9月定例県議会において、行財政運営調査特別委員会に付議された「県の行財政運営」について調査を行い、その結果を知事に提出しました。(表紙写真)
「行財政運営方針の見直し(一次案)」では、令和10年度までの収支不足が440億円に増加するなど、本県の行財政運営が厳しいことが明らかとなりました。
行財政運営調査特別委員会では、新型コロナウイルス感染症の影響など社会経済情勢が大きく変動する中、収支均衡と将来負担の軽減が図られるよう、持続可能な行財政運営に努める必要があることから、これまで以上に県民の意をくみながら「躍動する兵庫」の実現をめざすよう、多岐にわたる指摘を行いました。
委員会での調査報告を踏まえ、知事において収支不足を140億円まで縮減する最終案が作成され、第357回2月定例県議会に議案が提出され、可決されました。

＜可決された内容＞

【改正前】 行財政の運営に関する条例



【改正後】 県政改革の推進に関する条例

【改正前】 兵庫県行財政運営方針



【改正後】 兵庫県 県政改革方針

[兵庫県 県政改革方針](#) 検索 ※詳細は、兵庫県ホームページをご覧ください。



行財政運営調査特別委員会

「県政改革」の基本方針

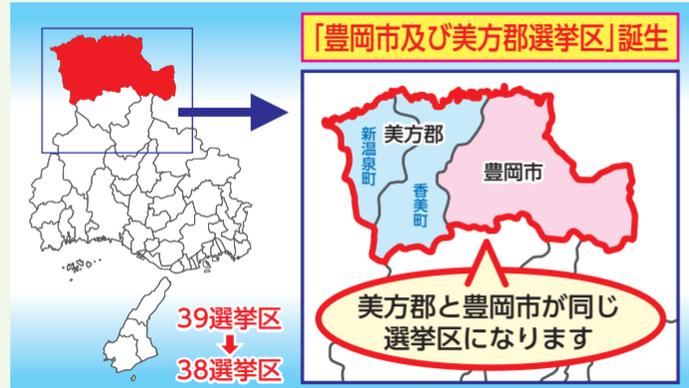
- ① 躍動する兵庫の実現
「ひょうごビジョン2050」に掲げる「躍動する兵庫」の実現に向けた県政を推進
- ② 持続可能な行財政基盤の確立
改革の着実な推進により収支均衡と将来負担の軽減を図りつつ、時代の変化に的確に対応
- ③ イノベーション型行財政運営の実現
職員一人ひとりから自律的・多発的に業務の創意工夫や変革の提案がなされる県政の実現

議員定数と選挙区の改正

議員定数等調査特別委員会での検討結果を踏まえ、「兵庫県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」を改正しました。

【改正の概要】

- 議員定数は、現行の条例定数と同じ「86人」。
- 「美方郡選挙区」(定数1人)を「豊岡市選挙区」(定数1人)と合区し「豊岡市及び美方郡選挙区」(定数2人)。
- 令和5年春の兵庫県議会議員選挙から施行。



編集・発行



兵庫県議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL.078-341-7711 (代)

FAX.078-362-9031

広告欄のため不掲載